

○第1回分 意見・感想等とりまとめ

会議 回	議事等	意見・感想等
1	検討会の進め方	1 検討会が原則非公開となったことは、委員の自由な発言を担保する上で良いことだと思います。また、委員の構成も女性も多く、バランスがとれていると思います。
		2 委員一人ひとりが自由に意見を述べることを担保するためにも、非公開にさせていただき感謝します。
		3 良かったと思います。
		4 質問や意見が熱くなる方ももちろんいらっしゃると思うのですが、毎回20時30分にはしっかり終わるようにしていただけると助かります。
		5 終了時間は厳守をお願いします。厳しいようであればぜひオンラインでの参加を検討してください。
		6 冬季（11月から）については夕方（17時等）から実施していただきたい。
		7 オンライン（Zoom）参加の場合はBreakoutroomを使い、オンラインで参加している方々を分けてグループワークをすることができます。その際に、ファシリテーター役にもオンライン参加してもらい、発表などが会場である場合はその方がリアルで発言をしてもらう。録画もできるし、データ等のシェアもできるので、有料版を得れば問題なく進められる。
		8 極力リアル参加しますが、子育て世代や豪雪地という状況を考えると、適宜オンラインでの参加ができるとありがたいです。
		9 保護者の方から家庭の事情で欠席せざるを得ないときに遠隔参加ができますようにとのご意見でした。ぜひお願いします。
		10 リモート参加について。事前に意見を出して、各グループでZoomのIDを設定するなど、方法があると思います。直接顔を合わせての参加がベストだと思いますが、やむを得ず欠席とならないような策をお願いします。
		11 意見に出たりリモート参加について。仮に機器の不具合などがあった場合、限られた時間の中でその対応をするのは無駄だし不要と思います。毎回の検討内容はすでに決まっているので、参加できないが意見を出したい場合は、事前に事務局へ提出すればよいのでは。託児も同様。
		12 保育ルームなど子育て中の親御さんも参加できますようにとのことでした。ぜひお願いします。
		13 子連れでの参加についてです。事前に分かっていたら出られそうな方が他にもいました。今後は事前の案内があるといいと思います。
		14 もの余りの時代となって、経済が停滞した時期がありました。その時、次の時代のテーマは？と問われた時に「繋ぐこと」であると聞きました。遠隔参加や保育ルームといった保護者の願いは、既に、「学び」の場への提案があったと思います。合理的配慮と言われる前に、求められる中にヒントがある場合があります。
		15 我が家も未就学児が2名いますが、託児所ができて利用する予定はありません。
		16 当事者となる子どもたちの意見をアンケートするとのことですが、現在の学校環境によっても考え方の違いが大きいと感じるので、全市的に行ってほしいです。早い段階でその結果を踏まえたグループワークができますように。
		17 前年度中に、現在の子どもたち（小学6年生・中学生）の思っていることや考えていることなどが聞けていると検討しやすいのではと思ってしまいました。

○第1回分 意見・感想等とりまとめ

会議回	議事等		意見・感想等
1	検討会の進め方	18	疑問に感じたのは、十日町市が促進している移住定住についてです。全国的な「教育移住」、または、十日町市の移住コンシェルジュや新潟県地域おこし協力隊が取り組んでいる「地域に関わり続けるまたは定住する人を育む地域教育」、という観点の情報や資料がないことです。
		19	中学校区再編の取組と移住促進を図るまちづくりの視点からの流れにしていると、十日町市のまちづくりの目指すところと新しい中学校のあり方の接点を踏まえた意見交換ができると感じました。
		20	新しい中学校を作る、ではなく、日本中で人口が減り続ける中での、「教育移住」も視野に入れた、幸せな暮らしをしたいご家族に選ばれるまちづくりの一環としての意見交換をしたいと思います。
		21	無理に視察するのではなく、「教育移住」先進地のいくつかの先生方のシンポジウムの方が、多くの事例を学べるかと思いました。
		22	十日町市は全国的に見ても、移住者にとって魅力的なまちであると、住み続けながら感じています。一方、学童保育が小学3年生までであることと、過疎化により近所に遊べる友人が少ない、またはいないことから、放課後や長期休暇に子どもが社会から孤立しやすい環境を嘆いています。
		23	平成27年告示「公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」から10年。現在、その改訂を見据え、調査研究協力者会議が開催されているようです。 『「適正規模・適正配置」は、学校の数を見直すことが目的ではなく、将来の児童生徒数の動向を見据えながら、望ましい教育環境を実現することが最大の目的』と示されています。児童数の減少のみを基準とすると、地域づくりと相反します。I・Uターンや移住促進を掲げながら、その検討要素に一番大事な教育の部分なので、行政の枠を超え、地域振興の観点からも方針を検討することが望まれます。私たちの地域では、3年前にこのグループワーク方式を実施し、「教育ビジョンの策定」や「統廃合に関する要望書の提出」に至りました。 今後はさらに広域的な議論となることが想定されるため、地域づくりを専門とする外部ファシリテーターを交えて進めることが有効であると考えます。
1	検討事項及び会議日程等	24	検討事項については、上記（検討会の進め方⑧⑨⑩）に記載した内容を考慮いただけると幸いです。
		25	検討内容に魅力ある学校を創る視点が多く含まれていて良いと思います。また、会議日程はひと月に1回が適当と考えます。
		26	市の都合もあると思うが、保護者を委員に委任しているのであればもう少し学校行事との兼ね合いを考えていただきたい。会議翌日から小中学校は2学期が始まりました。その前日に会を開くのは少し偏った考え方なのかなと思いました。もう少し保護者目線になって考えていただきたいです。
		27	市内ほとんどの学校が翌日から2学期です。夏休み最後の日の夕食は家族で食卓を囲み、「楽しい夏休みだったね」「明日から2学期、また学校ががんばろうね」という時間であってほしい。第1回目の会議がそういう日であったことは、保護者が大勢いらっしまったので残念です。
		28	1月・2月は雪の状況を見ての参加になるかもしれません。
		29	委員からの意見等により、必要となれば内容を深めるなど、日程も柔軟に対応していただけるといいなと思います。
		30	会議日程をすべてお知らせいただいているので、都合をつけやすいです。

○第1回分 意見・感想等とりまとめ

会議回	議事等		意見・感想等
1	グループワークの進め方	31	ワークショップ形式の進め方は、委員全員の意見を吸い上げるためには良い方法と考えますが、まとめを行うファシリテータの力量が大きく会議を左右すると考えられるので、人選には十分な配慮が必要と考えます。
		32	今後、グループワークが増える中で、委員は世代や立場、学校規模など多様な背景を持ち、意見の分散が見込まれます。またその多くは経験や感想に基づくため、必ずしもエビデンスや教育の最新動向と一致しない可能性もあります。よって、ファシリテーターの力量によって集約データが偏らないよう配慮いただきたいと思います。
		33	あくまでも意見出し(アイデア出し)のためのグループワークという理解でよろしいでしょうか。事務局が各グループの意見を参考に、方針案を提案するための意見出しという理解でよろしいでしょうか。
		34	グループワークで意見を出し合い、ファシリテーターが発表する、まではわかりましたが、その後、いくつかのグループがある中でそれぞれ出た案をどのようにしてまとめ、実効性のあるものへと移行していきますか。
		35	グループワークを中心とする検討会ということですが、検討会全体としての統一した意見に収束するような流れにしていけるのでしょうか。
		36	グループワークを行った後、それぞれのグループの意見をどうやって収束させるのか不明。異なる考え方が提示された場合、どのように「方針」に反映させるのか明示していただきたい。
		37	すぐに意見を出せる方ではないので、前もって何を考えてくればいいのか分かるようになっていたので良かったです。
		38	事前に手法をお知らせしてくださったことで、グループワークの予習ができてよいと思いました。
		39	グループメンバーで、男女の比率や地域住民・保護者・教育関係者の偏りがないようにしてほしいです。
		40	大多数が保護者なので、突っ込んだ話ができるか不安です。
1	配布資料の説明	41	膨大な資料の要点をうまく説明していただいて大変わかりやすかったのではないかと思います。
		42	市外校とはどこに行くのか知りたかったです。
		43	丁寧に説明いただき、分かりやすかったです。
		44	教育環境における法的な根拠や十日町市の現状について、とても丁寧に資料を用意していただき、感謝申し上げます。
		45	丁寧に説明いただきありがとうございます。
		46	学習指導要領改訂の資料は、現行の学習指導要領のもの。現在審議されている内容が今年度中にも論点整理、審議のまとめ等として文科省中教審から公表されるはず。このことを踏まえて協議できるように資料提供いただきたい。
		47	学習指導要領の説明は必要であるが、保護者は理解が難しい様子だった。私としてはとても分かりやすい説明だった。
		48	会議録が作られるとのこと。委員でない方々とも情報共有できるよう、迅速に作っていただけるとありがたいです。

○第1回分 意見・感想等とりまとめ

会議回	議事等		意見・感想等
1	その他	49	私たちの振興会では、2か月に1回の振興会長懇談会に代表委員3人を交えて意見交換の場を予定しており、意思統一を図っていく予定です。
		50	私の住む地区では振興会が主体となり、中学校統合の件を当初の頃から協議をしてきました。 地区の意見としては、「生徒数の急激な減少をみると、10年後に最初から1校が良いのではないか。」が大半でした。市内1校となれば、学校の立地は中心地となるのが必至なので、地区の子どもたちが、いかに安全で安心して通い、そして、様々な機会を十分に与えられるかを、しっかりと考える事が大切であると思っています。 先日の第1回会議で、今後の流れ等を理解できましたが、地区を代表して参加する私としては、事前にイメージしていた検討会と大きく異なりました。 次回から話し合われる「育てたい子どもの姿／大切にしたい教育」を考えることもとても大切ですが、当検討会の委員が、各地域からの参加者が多数であることから、本会の趣旨として一番に挙げられるのは、将来の「学校の数」と「その立地」、そうした時の「各地域から見た」「課題や問題点」、それを「解決する」には等であると考えます。 全8回あるとは言え、以下のようなことを話し合うには時間が足りないように感じます。 ●10年（30年）後の学校数 ●その学校の立地エリア ●立地エリア⇄地域ごとの問題点 ●市内全域から通うための手段 ●教育の提供手段（オンライン出席やサテライト校等） ●学校と地域の関わり方 ●校歌や制服、体操着等の引継ぎの有無等 ●旧学校の歴史はどうか ●部活動に代わるものの取り組み等に、最初から時間を割くべきではないでしょうか。
		51	学区外からの生徒（保護者）の動向に興味が持たれます。先進地域のまつのやま学園の事例をとりわけ、小学校と中学校の子どもたちが一緒になった時の過ごし方について事例をお話しいただきたいと思いますので、関係者をお招きしてお話を聞かせていただきたくお願いします。
		52	雪里留学を実施されているまつのやま学園の視察を希望します。地域の方から寄せられた絵がたくさん掛けられているそうです。この地域の独自性が生かされた姿を大切に、未来の学校づくりを！
		53	委員の中に小中学校の先生がいらっしゃるんだと思っていました。残念に思いました。
		54	このような意見出しできる用紙を用意していただきありがとうございます。
		55	委員一人ひとりの熱量に驚くとともに、大変関心が高い問題なのだと改めて実感しました。私たち委員がそれぞれ描いている夢を自由に語り合いたいですね。すてきな検討会になるとと思います。